

科名 外科

対象疾患名 治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸癌

プロトコール名 Pmab+mFOLFOX6(アロカリス併用)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	...	14
1	CVポート	メイン2-①	生理食塩水	250mL	ベクティビックス終了後1時間まで残ハキ可	↓			
2	CVポート	側管①	パロノセトロンバッグ	0.75mg	30分かけて	↓			
			アロカリス	235mg					
			ファモチジン	20mg					
			ポララミン	5mg					
			デキサート注	4.95mg					
3	CVポート	側管②	ベクティビックス	6mg/Kg	60分以上かけて要フィルター	↓			
			生理食塩水	100mL					
ルートキープにて1時間休薬									
4	CVポート	メイン2-②	レボホリナート注	200mg/m ²	2時間かけて	↓			
			5%ブドウ糖液	250mL					
5	CVポート	側管③	オキサリプラチン	85mg/m ²	2時間かけて	↓			
			5%ブドウ糖液	250mL					
6	CVポート	側管④	フルオロウラシル注	400mg/m ²	5～10分以内	↓			
			5%ブドウ糖液	50mL					
7	CVポート	メイン	フルオロウラシル注	2400mg/m ²	46時間持続静注	→			
			生理食塩液	mL※	バクスターインフューザーSV2.5				

※生理食塩液の量はフルオロウラシルの量により決定する。

★1クール＝14日

～MEMO～

催吐レベル3(30～90%)

DLTは末梢神経障害、皮膚障害

<ベクティビックス>

DLT:皮膚障害、下痢

ベクティビックス使用にあたってはKRAS遺伝子の野生型を確認する検査を実施すること。

ベクティビックス投与時は投与前後に生食でフラッシュし、インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用すること

ベクティビックス終了後、1時間ルートキープにて休薬する。

2回目以降に重度のinfusion reactionを発現することもある。

ベクティビックス投与開始前に皮膚科依頼をし、皮膚障害のコントロールについて連携を図ること。

<オキサリプラチン>

オキサリプラチンは必ず5%ブドウ糖で希釈。(薬効がおちる。)

オキサリプラチンのアレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。(現在は

4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)

Phase III study (PRIME/20050203) of panitumumab(pmab) with FOLFOX compared with FOLFOX alone in patients(pts) with previously untreated metastatic colorectal cancer(mCRC)
 J Clin Oncol,26,15S:4034,2008